

令和4年度

事業報告

令和5年

◆事業報告

I. 庶務事項

1. 理事会および評議員会の開催

<第 115 回理事会>

令和 4 年 6 月 3 日午前 11 時より第 115 回理事会を五島美術館別館講堂にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

令和 3 年度事業報告ならびに収支決算等について
評議員候補者の選任ならびに推薦について
理事候補者の選任ならびに推薦について
諮問委員の選任について
責任限定契約の締結について
定時評議員会の招集について

<第 107 回評議員会>

令和 4 年 6 月 21 日午後 3 時より第 107 回評議員会(定時評議員会)を東急株式会社本社役員会議室にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

令和 3 年度事業報告ならびに収支決算等について
評議員の選任について
理事の選任について
理事の報酬について

<第 116 回理事会>

令和 4 年 6 月 21 日午後 4 時より第 116 回理事会を東急株式会社本社役員会議室にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

代表理事(理事長)の選定について
業務執行理事(常務理事)の選定について

<第 117 回理事会>

美術品(岡本太郎作品)の受贈の提案の審議事項について、理事全員の同意ならびに監事全員の異議のない旨の確認を得たので、令和 4 年 9 月 7 日付にて、第 117 回理事会として同案を可決した。

審議事項 美術品(岡本太郎作品)の受贈の提案について

<第 108 回評議員会>

定款の一部変更の提案の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和 4 年 9 月 28 日付にて、第 108 回評議員会として同案を可決した(特別決議事項)。

審議事項 定款の一部変更の提案について

<第118回理事会>

令和5年3月14日午前11時より第118回理事会を五島美術館別館講堂にて開催し、下記の議案を審議、可決した。

令和5年度事業計画書ならびに収支予算書等について
評議員会の開催および招集について

<第109回評議員会>

令和5年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、令和5年3月25日付にて第109回評議員会として同案を可決した。

審議事項 令和5年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認について

2. 定款の変更

令和4年9月28日付にて定款の別表「公益目的事業を行うために不可欠な特定の財産(第5条関係)」に美術工芸品・彫刻2件を追加するため定款の一部変更を行った。

3. 官公庁への届出

- ・令和4年6月29日 令和3年度事業報告等の提出……………内閣府
- ・令和4年7月21日 役員の変更の届出……………内閣府
- ・令和4年9月29日 定款の変更の届出……………内閣府
- ・令和5年3月29日 令和5年度事業計画書等の提出……………内閣府

4. 寄附受領等

<寄附金の受領>

令和4年度については寄附金受領の実績なし

<助成金の受領>

令和5年3月1日 「文化芸術振興費補助金(文化施設の感染拡大予防・活動支援環境整備事業)」を文化庁から受領

140,000円(経常外収益として計上)=(未収金計上)

令和5年3月17日 「令和4年度芸術文化振興基金助成金」を独立行政法人日本芸術文化振興会から受領

3,000,000円(経常収益として計上)

令和5年3月31日 「文化財保存修復事業助成金」を公益財団法人三菱財団から受領

500,000円(経常収益として計上)=(未収金計上)

<美術品の受贈>

令和4年4月17日 宇野公容氏から「宇野雪村旧蔵作品」80件を受贈
宇野雪村旧蔵作品 80件

令和4年9月7日 故石原慎太郎氏の遺志により石原宏高氏から岡本太郎作「梵鐘・歓喜」
1件1点と岡本太郎デザイン「手の椅子」(赤色・白色1対) 1件2点を受贈、「基本財産」(指定正味財産)として受入れ(定款別表追記)
岡本太郎作「梵鐘・歓喜」1件1点
岡本太郎デザイン「手の椅子」1件2点
(赤色・白色1対)

令和5年3月17日 故石原慎太郎氏の遺志により親族から岡本太郎作「手のロウソク」1件を受贈
岡本太郎作「手のロウソク」1件

5. 設備投資等

<設備投資等>

設備投資等総額 5,008,436円(消費税込)

(内訳)

令和4年4月29日 「紫式部日記絵巻復元模写作品」額装
発注金額 2,618,686円(消費税込)
発注先 株式会社松鶴堂

令和4年10月1日 共用パソコン、ノートパソコン各1台購入
購入金額 706,750円(消費税込)
購入先 株式会社カントー

令和5年2月15日 中庭階段手すり設置工事
発注金額 1,683,000円(消費税込)
発注先 清水建設株式会社

6. 文化財の修復等

「本阿弥切 伝 小野道風筆」修復事業を実施した。

修復費用総額 1,981,204円(令和4年度分)

※ 公益財団法人三菱財団から助成金500,000円を受領(4.寄附受領等参照)

7. 基本財産の一部取り崩し

新型コロナウイルス感染症感染拡大の長期化による東急グループの経営環境悪化に伴い東急株式会社をはじめとする東急グループから寄附金受領が見込めない状況が続いたため、資

産管理規程第 5 条 2 項の定める「この法人の事業遂行上やむを得ない場合」に該当すると判断し、定款第 5 条 2 項に基づき、理事会、評議員会の承認を得て、基本財産のうち投資有価証券の一部を取り崩して処分し、運転資金の不足額に充当した(取り崩し上限額 200,000,000 円)。

取り崩した金額(総額) 195,699,753 円

(内訳) 代表理事(理事長)による稟議決裁

令和 4 年 6 月 30 日	99,861,000 円	(稟議番号・局 4-8 号)
令和 4 年 11 月 30 日	50,000,000 円	(稟議番号・局 4-21 号)
令和 5 年 3 月 31 日	45,838,753 円	(稟議番号・局 4-35 号)

8. 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策

文化庁の指導の下、公益財団法人日本博物館協会が策定した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に準拠した五島美術館としての「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策」を講じた上で展示公開を継続した。

またホームページ上に「五島美術館へご来館される皆様へのお知らせとお願い」(新型コロナウイルス感染症関連)の文書を引き続き掲出公開した。

<イベントの中止・変更等>

主催するイベントに関しては、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の観点から下記のとおり感染予防対策を講じながら順次再開してきた(一部を除く)。

- ・講演会(特別展) 会場収容人数の制限(定員の 50%)
参加者の氏名・連絡先の把握
開催時間の短縮(90 分→60 分)
換気の実施
直行直帰・接触確認アプリ(COCOA)奨励等の呼び掛け
- ・ギャラリートーク 会場収容人数の制限(定員の 50%以下)
参加者の氏名・連絡先の把握
開催時間の短縮(90 分→60 分)
換気の実施
直行直帰・接触確認アプリ(COCOA)奨励等の呼び掛け
- ・こども美術講座 開催見合わせ
- ・コンサート 会場収容人数の制限(定員の 50%以下)
参加者の氏名・連絡先の把握
開催時間の短縮(120 分→90 分)
途中休憩の廃止
換気の実施
直行直帰・接触確認アプリ(COCOA)奨励等の呼び掛け

- ・茶室特別公開 茶室内部(「古経楼」の畳上)の見学休止
呈茶の休止
- ・月例美術講座 会場収容人数の制限(定員の50%以下)
参加者の氏名・連絡先の把握
開催時間の短縮(90分→60分)
換気の実施
直行直帰・接触確認アプリ(COCoA)奨励等の呼び掛け
- ・陶芸講座 会場収容人数の制限(35人→20人)
アクリル板の設置
換気の実施
- ・茶 会 各服点てへの変更
開催時間の短縮(お点前の休止)
道具解説の簡略化(スライド解説は実施)
1席あたりの定員制限(20人→15人)
換気の実施
除菌消臭器の設置
点心席の休止(点心は持ち帰り)

9. その他

<「五島慶太翁肖像画」の青木村における展示公開>

当館が収蔵する「五島慶太翁肖像画」(弦田英太郎作)を、五島慶太翁の生誕地である長野県小県郡青木村に無償貸与し、青木村内の「五島慶太未来創造館」の館内において、令和4年10月9日から展示公開(常設展示)を開始した。

- ・作品名 五島慶太翁肖像画(弦田英太郎作)
- ・貸与先 長野県小県郡青木村田沢111
青木村村長 北村政夫
- ・貸与期間 令和4年9月1日から令和6年8月31日まで(2年間)
(貸与期間満了後、同一条件にて2年間更新予定、以後も同様)

<入館券の「MY Bunkamura」でのオンラインチケット販売開始>

館蔵・秋の優品展「禅宗の嵐」の入館券(一般、高・大学生)から、株式会社東急文化村が運営する「MY Bunkamura」でオンラインチケット販売を開始した。

- ・取扱実績 479枚(令和4年8月27日～令和5年3月26日)
(内訳)

秋の優品展	一般	59枚	高・大学生	2枚
西行展	一般	328枚	高・大学生	21枚(各前売券を含む)
茶道具取合せ展	一般	55枚	高・大学生	12枚
中国の陶芸展	一般	2枚	高・大学生	0枚

<「ぐるっとパス 2022」の電子化に対応>

令和4年度から新たに電子化(QRコード化)された「ぐるっとパス(旧・東京の美術館・博物館等
共通入館券)2022」に対応して、令和4年4月1日から販売ならびに入館受け入れを開始した
(事業主体=ぐるっとパス 2022 実行委員会)。

- ・販売実績 301 枚(令和4年4月1日～令和5年1月31日)
- ・入館実績 5,331 枚(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

以 上

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館(公益目的事業①)

1. 展示事業

1-1. 入館者数

							*単位は人
有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均	
1 [館蔵]春の優品展—吉祥の美—〈令和4年4月2日[土]—5月8日[日]〉							
4,929	495	5,424	240	5,664	32	177	
2 [館蔵]近代の日本画展 〈5月14日[土]—6月19日[日]〉							
6,647	440	7,087	144	7,231	32	226	
3 [館蔵]夏の優品展—動物の饗宴— 〈6月25日[土]～7月31日[日]〉							
3,080	381	3,461	102	3,563	32	111	
4 [館蔵]秋の優品展—禅宗の嵐— 〈8月27日[土]～10月16日[日]〉							
4,730	411	5,141	172	5,313	44	121	
5 [特別展]西行—語り継がれる漂泊の歌詠み— 〈10月22日[土]～12月4日[日]〉							
14,599	2,461	17,060	466	17,526	38	461	
6 [館蔵]茶道具取合せ展 〈12月10日[土]～令和5年2月12日[日]〉							
6,042	647	6,689	311	7,000	47	149	
7 [館蔵]中国の陶芸展 〈2月18日[土]～3月26日[日]〉							
3,793	319	4,112	168	4,280	32	134	
合計	43,820	5,154	48,974	1,603	50,577	257	197

1-2. 特別展

[特別展]西行—語り継がれる漂泊の歌詠み—

- ・主催＝公益財団法人五島美術館・日本経済新聞社
- ・期間＝令和4年10月22日[土]～12月4日[日]
- ・特別内覧会＝令和4年10月21日[金]……………出席者155名
- ・講演会＝令和4年10月29日[土] 五味文彦氏(東京大学名誉教授)
「西行法師が往く」……………聴講者78名
- ・講演会＝令和4年11月19日[土] 久保田淳氏(東京大学名誉教授)
「西行和歌の多面性について」……………聴講者83名

※講演会は各日とも事前予約制で行なった。開催にあたっては定員を100名とし、参加者の氏名・連絡先を把握(受講カードの配布・回収)するなどの感染拡大予防対策を講じた。

1-3. 付帯事業

展示事業に関連して、美術館と展示・収蔵品を全国の不特定多数の方に紹介する効果がある東急グループの「五島美術館名品集カレンダー」の制作・監修を行なった。

また国宝「源氏物語絵巻」をはじめ展示・収蔵品に因んだオリジナルグッズなどの製作・監修、館内ミュージアムショップ等での販売も実施した。

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 調査・研究

- ・特別展等に際して、館外所蔵および収蔵作品の調査を行なった。
- ・展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。
- ・収蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。
- ・以上の成果の一部については、展覧会図録および研究紀要にて報告。

2-2. 美術品の保存・補修

- (1)「本阿弥切」一幅の修理事業を行なった(2ヶ年計画 2年度)。令和4年度の修理費は1,981,204円であるが、三菱財団から500,000円の助成を受けた。
- (2)経年劣化した「長次郎赤楽茶碗 銘 夕暮」の御物袋および、前年度に引き続き「鉄絵牡丹文壺(絵高麗瓶)」の包み裂を修理した。
- (3)作品の展示に際し、経年劣化損傷していた「伯庵茶碗 銘 冬木」仕覆を修復した。
- (4)収蔵庫の保存環境改善のため総合的な除塵防黴施工(IPM)を実施した。

2-3. 出版物

- (1)『西行一語り継がれる漂泊の歌詠み一』
 - ・判型=A4判 ・発行日=令和4年10月21日
 - ・編集=五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部
 - ・発行=公益財団法人五島美術館 ・頁数=256頁(カラー168頁、図版100点所収)
- (2)『五島美術館研究紀要』第11号
 - ・判型=A4判 ・発行日=令和5年3月31日
 - ・編集=五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部
 - ・発行=公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

- ・MOA美術館……………重要文化財「久能寺経 法華経法師功德品 卷第十九」他/計2件
「MOA美術館開館40周年記念 大蒔絵展 漆と金の千年物語」(期間=令和4年4月1日~5月8日)
- ・サントリー美術館……………「下絵古今和歌集切 伝藤原定頼筆」他/計5件
「歌枕 あなたの知らない心の風景」(期間=令和4年6月29日~8月28日)
- ・佐賀県立名護屋城博物館……………「胡銅大曾呂利花生」他/計2件
「黄金の茶室」復元記念 肥前名護屋、煌めく一豊臣秀吉と桃山文化一
(期間=令和4年9月16日~11月6日)
- ・姫路市立美術館……………重要美術品「尹大納言絵巻断簡」/計1件
「杉本博司 本歌取り—日本文化の伝承と飛翔」(期間=令和4年9月17日~11月6日)
- ・和泉市久保惣記念美術館……………「鴟梟形白玉」他/計6件
「開館40周年記念 玉石の美—人びとを魅了した石の工芸—」(期間=令和4年9月18日~11月13日)
- ・京都国立博物館……………重要文化財「梅花小禽図 伝馬麟筆」他/計6件
「京に生きる文化 茶の湯」(期間=令和4年10月8日~12月4日)

- ・神戸市立博物館……………「鴨囀 伝徽宗皇帝筆」／計 1 件
「神戸市立博物館開館 40 周年記念 よみがえる川崎美術館—川崎正蔵が守り伝えた美への招待—」
(期間=令和 4 年 10 月 15 日～12 月 4 日)
- ・川越市立博物館……………「梅さける村 小茂田青樹筆」他／計 2 件
「市制施行 100 周年・開館 20 周年記念 〈小江戸文化シリーズ〉5 小茂田青樹展」
(期間=令和 4 年 10 月 22 日～12 月 4 日)
- ・台東区立書道博物館……………「蘭亭図巻(大巻)」他／計 5 件
「東京国立博物館・台東区立書道博物館連携企画 20 周年 王羲之と蘭亭序」
(期間=令和 5 年 1 月 31 日～4 月 23 日)
- ・富山県美術館……………「耶蘇十二使徒板画柵屏風 棟方志功画」／計 1 件
「富山県美術館開館 5 周年記念 生誕 120 年 棟方志功展 メイキング・オブ・ムナカタ」
(期間=令和 5 年 3 月 18 日～5 月 21 日)

計 10ヶ所 31 件

2-5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館収蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(令和 4 年度は 89 件・のべ 131 点)。

2-6. ホームページ等の運営

五島美術館の公式ホームページ(URL=https://www.gotoh-museum.or.jp/)を運用し、インターネット上での美術館や収蔵品の紹介、展覧会の広報活動等を展開した。

3. 普及事業

3-1. 普及事業(当館主催)

(1) ギャラリートーク(展示解説)—入館者を対象にして実施

計 23 回実施 聴講者数 [のべ]1,249 名

- ・[館蔵]春の優品展—吉祥の美—
「寿ぎの古筆切」 4 月 21 日[木](別館講堂)…………… 参加者 44 名
「中国の吉祥図案」 4 月 27 日[水](別館講堂)…………… 27 名
「源氏物語絵巻について」 4 月 30 日[土]、5 月 6 日[金](別館講堂)…………… 計 145 名
- ・[館蔵]近代の日本画展
「前衛書について」 6 月 9 日[木](別館講堂)…………… 16 名
「近代日本画の世界」 6 月 16 日[木](別館講堂)…………… 61 名
- ・[館蔵]夏の優品展—動物の饗宴—
「動物のかたち(絵画編)」 6 月 29 日[水](別館講堂)…………… 16 名
「動物のかたち(化物編)」 7 月 7 日[木](別館講堂)…………… 31 名
「江戸時代言葉遊びの本」 7 月 13 日[水](別館講堂)…………… 27 名
「動物のかたち(考古編)」 7 月 20 日[水](別館講堂)…………… 19 名

- 「動物のかたち(リレートーク編)」 7月28日[木](別館講堂)…………… 34名
- [館蔵]秋の優品展—禅宗の嵐—
 - 「五島美術館の日本陶磁について」 9月1日[木](別館講堂)…………… 19名
 - 「高僧と名刹巡り」 9月14日[水](別館講堂)…………… 41名
 - 「紫式部日記絵巻について」 10月13日[木]、16日[日](別館講堂)…………… 計 165名
 - [特別展]西行—語り継がれる漂泊の歌詠み—
 - 「西行物語絵巻の世界」 10月26日[水](別館講堂)…………… 81名
 - 「西行と古筆」 11月1日[火](別館講堂)…………… 76名
 - 「語り継がれる西行」 11月22日[火](別館講堂)…………… 84名
 - [館蔵]茶道具取合せ展
 - 「茶道具取合せ展について」 1月18日[水](別館講堂)…………… 89名
 - 「名物裂—古裂鑑賞の歴史」 1月26日[木](別館講堂)…………… 84名
 - 「茶の湯を彩る染織」 2月7日[火](別館講堂)…………… 83名
 - [館蔵]中国の陶芸展
 - 「五島美術館の中国陶磁について」 2月22日[水](別館講堂)…………… 49名
 - 「はじめての中国陶磁」 3月9日[木](別館講堂)…………… 58名
- ※感染症感染拡大予防のため、[館蔵]夏の優品展までは定員を80名([館蔵]秋の優品展以降は定員100名)とし、参加者の氏名・連絡先を把握(受講カードの配布・回収)するなどの感染拡大予防対策を講じた。

(2) 青少年向け普及講座

①こども美術講座—小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施
令和4年度は開催を見合わせた。

②小学校への出張講義

令和4年度は開催を見合わせた。

③中高生向け講義

東京学芸大学附属高等学校社会科見学実習(文化財の保存と教育コース)

令和5年2月2日[木](集会室)……………参加者 計22名(生徒20名、教員2名)

(3) 団体見学および団体説明会

館内入場者数制限の都合上、令和4年度は団体見学受入れを休止した。

(4) ミュージアム・コンサート—入館者を対象にして実施

•クアルテット・リゾナンツァによる弦楽四重奏演奏会＝令和4年7月6日[水]

1st Violin＝白井篤／2nd Violin＝山口裕之／Viola＝小野聡／V.Cello＝山内俊輔 (敬称略)

プログラム: モーツァルト 弦楽四重奏曲第5番へ長調 K.158

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第1番へ長調 Op.18-1

ラヴェル 弦楽四重奏曲へ長調

入場料＝4,500円(友の会4,000円) 予約制……………参加者76名

・長唄演奏会一和のこころを聴く＝令和4年9月27日[火]

三味線＝杵屋五三魅、東音 村尾慎三、杵屋五助、杵屋五之吉／唄＝杵屋六響、東音 半田昌恵、東音 半田綾子／笛＝福原寛／囃子＝望月秀幸、望月左太寿郎、望月太左幹、梅屋喜三郎（敬称略）

プログラム： 賤苧環 船弁慶

入場料＝4,500円(友の会4,000円) 予約制……………参加者74名

※各コンサート開催にあたっては座席数を80席とし、演奏時間を短縮、参加者の氏名・連絡先を把握(参加者カードの配布・回収)するなどの感染拡大予防対策を講じた。

(5) 茶室特別公開—入館者を対象にして実施

公開日＝令和4年5月25日[水]、令和5年2月1日[水]

普段は公開を制限している登録有形文化財の茶室(古経楼・富士見亭)を特別公開した。

※公開にあたっては茶室内部(畳上)の見学および呈茶を中止した。

(6) 特別閲覧

美術館、博物館、大学等の研究者を対象として美術品の特別閲覧に対応した。

- ・武谷 和彦氏他(2名:令和4年5月17日)……………胡銅大曾呂利花生他 計2件
- ・岩本 崇氏(1名:令和4年5月26日・27日)……………捩紋鏡羽紋系他 計12件
- ・佐々木 勇氏(1名:令和4年5月29日)……………武州普濟寺版 華嚴經 卷第三十九 計1件
- ・川野 憲一氏他(2名:令和4年6月15日)……………伝徽宗皇帝筆 鴨図 計1件
- ・鍋島 稲子氏他(2名:令和4年7月1日)……………蘭亭図卷(大卷)他 計6件
- ・橋詰 文之氏(1名:令和4年7月13日)……………端溪紫石蘭亭硯他 計4件
- ・紅林 優輝子氏(1名:令和4年7月29日)……………重要美術品 尹大納言絵巻断簡 計1件
- ・佐々木 勇氏(1名:令和4年10月22日)
……………重要文化財 妙法蓮華經 卷第五 藤原南家經 計1件
- ・後藤 健一郎氏(1名:令和4年12月1日)
……………伝依屋宗達筆 業平東下り図(伊勢物語富士山図)他 計3件
- ・宮崎 健司氏他(2名:令和4年12月23日)……………重要美術品 得無垢女經(光明皇后願經) 計1件
- ・宇野 隆志氏他(3名:令和5年3月2日・3日)
……………重要文化財 千葉県鶴巻塚古墳出土 画紋帯仏獣鏡他 計12件
- ・金子 馨氏(1名:令和5年3月8日)……………重要文化財 虚堂智愚墨跡 二首偈他 計2件
- ・落合 俊典氏他(3名:令和5年3月10日)……………画図讚文断簡 計1件

3-2. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(令和5年3月31日現在)。

3-2-1. 美の友会(定員制度無し・入会した日より1年間有効)

- ・会員数＝395名
- ・年会費＝4,000円

- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料、資料代1回につき100円程度必要)。
- ・陶芸講座の開催(年3回の予定)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。
- ・提携する美術館の入館料割引。

(1) 月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月3回<8月、11月を除く>)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の収蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。

※7月までは定員を80名(9月以降は定員100名)とし、講座時間を短縮、参加者の氏名・連絡先を把握(受講カードの配布・回収)するなどの感染拡大予防対策を講じた。

計 30 回実施 聴講者数 [のべ]1,382 名

・特別展鑑賞シリーズⅢ「西行への旅」(全6回)

担当＝五島美術館学芸部 佐々木佑記(第1・4回)・下山來夏(第2・5回)
大東急記念文庫学芸部 村木敬子(第3回)・長田和也(第6回)

第1回	令和4年 4月 2日[土]	国宝「一品経和歌懐紙」と伝西行の古筆聴講者 65名
第2回	5月 7日[土]	「西行の旅と絵画」..... 69名
第3回	6月 4日[土]	「語り継がれた西行」..... 57名
第4回	7月 2日[土]	「金剛峯寺蔵 国宝「僧円位(西行)書状」について」 53名
第5回	9月 3日[土]	「西行の和歌と絵画」..... 65名
第6回	10月 1日[土]	「江戸時代に降り立った西行」..... 57名

・陶磁鑑賞シリーズⅨ「名物記にあらわれる茶の湯道具」(全10回)

担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子

第6回	令和4年 4月 9日[土]	「瀬戸茶入 銘 月迫と銘 一本」.....聴講者 49名
第7回	5月 14日[土]	「唐物茶入 銘 安国寺肩衝と銘 宗伍茄子」..... 53名
第8回	6月 11日[土]	「唐物文琳茶入 銘 本能寺文琳」..... 61名
第9回	7月 9日[土]	「唐物文琳茶入 銘 吹上文琳」..... 49名
第10回	9月 10日[土]	「唐物円座肩衝茶入 銘 利休円座」..... 46名

*第1～5回は令和3年度実施。

・考古鑑賞シリーズⅠ「五島美術館所蔵の考古美術」(全6回)

担当＝五島美術館学芸部 林克彦

第1回	令和4年 4月 16日[土]	「考古学とは何か」.....聴講者 42名
第2回	5月 21日[土]	「玉器と玻璃」..... 23名

第3回	6月18日[土]	「水禽埴輪」……………	32名
第4回	7月16日[土]	「国宝・金銅馬具」……………	22名
第5回	9月17日[土]	「古鏡を読む(1)」……………	31名
第6回	10月15日[土]	「古鏡を読む(2)」……………	31名

・陶磁鑑賞シリーズX「名品を深読みする②」(全4回)

担当＝五島美術館学芸部 田代裕一郎(第1・2回)・菅沢そわか(第3・4回)

第1回	令和4年12月3日[土]	「重要文化財 古伊賀水指 銘 破袋」…聴講者	57名
第2回	令和5年1月7日[土]	「絵唐津四方筒向付」……………	41名
第3回	2月4日[土]	「重要美術品 白釉黒花牡丹文梅瓶 磁州窯」…	45名
第4回	3月4日[土]	「重要文化財 五彩透彫水注(金欄手) 景德鎮窯」 ……………	41名

・染織鑑賞シリーズXIV「ひそかに楽しむ表装の裂」(全5回)

担当＝五島美術館学芸部 佐藤留実

第1回	令和4年10月8日[土]	「「破れ虚堂」一蔵の宝は滅茶苦茶に」…聴講者	52名
第2回	12月10日[土]	「東山表具—キラキラは將軍のイメージ」……………	62名
第3回	令和5年1月14日[土]	「名物表具の見どころ—茶人は見た!」……………	55名
第4回	2月11日[土]	「表具裂鑑賞1—なかなか聞けない表具裂」……	62名
第5回	3月11日[土]	「表具裂鑑賞2—ひそかに見分ける表具裂」……	58名

・古典籍鑑賞シリーズIV「黄表紙『御存商売物』を読む」(全4回)

担当＝大東急記念文庫学芸部 長田和也

第1回	令和4年12月17日[土]	「発端。黄表紙に嫉妬する赤本、黒本」 ……………	聴講者 24名
第2回	令和5年1月21日[土]	「狙われた一枚絵、遊女になった錦絵」……………	26名
第3回	2月18日[土]	「吉原細見のモデル、蔦屋重三郎」……………	30名
第4回	3月25日[土]	「結末。仲裁役は源氏物語と唐詩選」……………	24名

(2) 陶芸講座—美の友会会員を対象にして実施 *指導＝弘法窯スタッフ

下記の通り、当館第二講堂において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了(一日教室)。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成(完成品は集会室にて手渡し)。

・第1回＝	令和4年5月28日・29日	「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……………	参加者計 28名
・第2回＝	令和4年9月24日・25日	「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……………	計 23名
・第3回＝	令和5年1月28日・29日	「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……………	計 19名
			総計＝70名

※開催にあたっては定員を20名とし、会場各席にパーテーションを設置するなどの感染拡大予防対策を講じた。

3-2-2. 茶の友会(定員制度・毎年度4月1日から翌年3月31日まで有効)

- ・会員数=1,200名
- ・年会費=6,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年2回・ただし、1回につき実費10,000円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。
- ・「美の友会月例美術講座」を聴講可能(聴講料・資料代1回につき600円程度必要)。

(1) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

- ・第1回秋季茶会=令和4年11月10日、11日、12日、13日(4日間)……………参加者計569名
 - ・第2回春季茶会=令和5年3月16日、17日、18日、19日(4日間)……………参加者計603名
- *上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。 総計=1,172名
- ※開催にあたっては一席あたりの定員を15名程度、時間を約30分とした。濃茶席は点出し、各服点とし、点心は持ち帰りとするなどの感染拡大予防対策を講じた。

3-3. 外部との連携事業

(1) 他美術館との連携事業

- ・「秋の三館 美をめぐる」三井記念美術館・根津美術館・五島美術館 三館合同キャンペーン
令和4年度は企画を見合わせた。

・Bunkamuraとのタイアップ企画

東急文化村が運営するMY Bunkamura 登録者(約81万人)を対象とした情報発信等を通じてタイアップ企画を実施し、展覧会の告知と集客促進を図った。

- ①[館蔵]近代の日本画展「ポストカードプレゼント」
- ②[館蔵]夏の優品展—動物の饗宴—「オリジナルがま口プレゼント」
- ③[館蔵]秋の優品展—禅宗の嵐—「リアルモチーフタオル(破袋)プレゼント」
- ④[特別展]西行—語り継がれる漂泊の歌詠み—「2023年カレンダー〈五島美術館名品集〉プレゼント」
- ⑤[館蔵]茶道具取合せ展「クリアフォルダーセットプレゼント」

また、令和5年2月18日・19日の両日、オーチャードホールで開催されたオペラ「源氏物語」の公演会場で、国宝「源氏物語絵巻」特別展示の告知ならびに「源氏物語絵巻」オリジナルグッズの販売を実施した。

(2) 近隣館との連携事業

・静嘉堂文庫美術館 相互割引提携

静嘉堂文庫美術館との相互割引を実施(平成28年8月27日より実施)。静嘉堂文庫美術館(常時)の有料入館券の半券提示で当館一般入館料から100円割引、当館有料入館券の半券提示で静嘉堂文庫美術館の正規入館料から200円を割引く(同館は展示ギャラリー移転に伴い令和3年6月14日より休館)。但し、令和4年度は静嘉堂文庫美術館の移転に伴い一時休止。

・世田谷美術館 相互割引提携

世田谷美術館との相互割引を実施(平成 29 年 4 月 1 日より実施)。世田谷美術館(常時)の企画展の有料観覧券の半券提示で当館一般入館料から 100 円割引、当館有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料を団体料金(原則 200 円引き)に割引く。令和 4 年度、当館における割引利用入館者は 22 名。

(3) 東急グループとの連携事業

・特別鑑賞会「東急グループ感謝のつどい」

令和 4 年 4 月 18 日 特別展示、茶室公開他(本館展示室・茶室・庭園) ……参加者 235 名

・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」鑑賞券付き企画『作って楽しむ景色盆栽』

令和 4 年 4 月 24 日(見晴荘) ……参加者 22 名

・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別展『西行』期間限定無料ご招待企画

令和 4 年 10 月 25 日～11 月 20 日 ……入館者累計 1,739 名

・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」メンバーズマガジン『Fino』プレゼント企画

『Fino』11月号/2023 年カレンダー「五島美術館名品集」(抽選 150 名)

・「キネコ国際映画祭」運営・告知協力

地域における文化の振興・普及活動の一環として、東急グループがプリンシパル・パートナーを務める「キネコ国際映画祭」の運営・告知に協力。

令和 4 年 11 月 2 日～6 日 第 29 回キネコ国際映画祭(二子玉川)

・東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム〈美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう!〉」

令和 5 年 1 月 22 日 ……参加者 10 名

・東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」東急グループ創立 100 周年感謝企画『自由が丘から神社仏閣、五島美術館を巡る歴史探訪』(町歩き)

令和 5 年 2 月 8 日 展示解説・茶室見学他(本館集会室、茶室) ……参加者 22 名

※予定されていた令和 5 年 2 月 10 日は悪天候(降雪)につき中止

・東京都市大学(五島育英会)FD 企画 2022 年度第 2 回「自校教育」

教職員を対象に五島慶太翁の文化的な活動と五島美術館の歴史等に対する理解を深める研修を実施した。

令和 5 年 2 月 24 日 研修会・茶室見学他(別館講堂・茶室・本館展示室) ……参加者 36 名

・オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ」

令和 4 年度は開催しなかった。

(4) 大学との連携事業

・共立女子大学との連携事業

文化財保護・保存を推進し、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的として、共立女子大学との連携事業を実施。令和 4 年度は、「雛屏風 輿入行列」1 件の収納袋の新規作成検討・制作を行なった。

3-4. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第 1 条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、新型コロナウイルス感染予防対策をとりつつ指導を行なった(実習生 3 大学 3 名)。

・期間＝令和 4 年 11 月 2 日～16 日 計 12 日間(7 日・8 日・14 日休)

・実習生＝清泉女子大学 文学部 文化史学科……………1 名
日本女子大学 文学部 史学科……………1 名
鶴見大学 文学部 文化財学科……………1 名

3-5. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

当館主催「陶芸講座」参加者作品展観(令和 4 年 5 月 28 日・29 日、9 月 24 日・25 日、令和 5 年 1 月 28 日・29 日)、「東急ロイヤルクラブ」イベント会場(令和 5 年 2 月 8 日)、美術品写真撮影、美術品修理、博物館実習、館内諸会議などに使用。

(2) 別館講堂

当館理事会(令和 4 年 6 月 3 日他)、当館主催「ギャラリートーク」(令和 4 年 4 月 21 日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(令和 4 年 4 月より毎月 3 回(8 月、11 月を除く))、当館主催「講演会」(令和 4 年 10 月 29 日他)、当館主催「茶の友会茶会」の道具組説明会(令和 4 年 11 月 10 日～13 日、令和 5 年 3 月 16 日～19 日)、当館主催「ミュージアム・コンサート」(令和 4 年 7 月 6 日、9 月 27 日)、東急グループ主催「特別鑑賞会」(令和 4 年 4 月 18 日)、東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム」(令和 5 年 1 月 22 日)、東京都市大学主催「FD 企画「自校教育」」(令和 5 年 2 月 24 日)などに使用。

(3) 第二講堂(見晴荘)

当館主催「陶芸講座」(令和 4 年 5 月 28 日・29 日、9 月 24 日・25 日、令和 5 年 1 月 28 日・29 日)、東急株式会社主催「東急ロイヤルクラブワークショップ」(令和 4 年 4 月 24 日)に使用。

(4) 茶室(古経楼、富士見亭)

当館主催「茶の友会茶会」(令和 4 年 11 月 10 日～13 日、令和 5 年 3 月 16 日～19 日)、当館主催「茶室特別公開」(令和 4 年 5 月 25 日、令和 5 年 2 月 1 日)、東急グループ主催「特別鑑賞会」(令和 4 年 4 月 18 日)、東急グループ主催「とうきゅうキッズプログラム」(令和 5 年 1 月 22 日)、東京都市大学主催「FD 企画「自校教育」」(令和 5 年 2 月 24 日)に使用。令和 4 年度は感染拡大予防対策の一環として一般への貸出は中止した。

4. その他

4-1. その他の協力事業および会議等への派遣

(1) 2023 年度 ICOM 日本委員会総会への参加(館長、令和 4 年 5 月 22 日、東京国立博物館)。

(2) 第 2 回 全国美術館会議社員総会への参加(参与、令和 4 年 6 月 2 日、ベルクラシック甲府)。

- (3) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が第 33 回理事会に出席(令和 4 年 6 月 3 日、黒田記念館〈Zoom 併用〉)。
- (4) 公益財団法人東京オペラシティ文化財団の評議員(評議員会議長)として館長が定時評議員会に出席(令和 4 年 6 月 22 日、東京オペラシティ会議室)。
- (5) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が第 11 回評議員会に出席(令和 4 年 6 月 24 日、黒田記念館〈Zoom 併用〉)。
- (6) 第 29 回 全国博物館長会議への参加(館長、令和 4 年 7 月 6 日、オンライン開催)。
- (7) ぐるっとパス 2021 実行委員会第 2 回総会への参加(館長、令和 4 年 7 月 14 日、東京都写真美術館)。
- (8) 私立美術館会議幹事会に参加(館長他 1 名、令和 4 年 7 月 15 日、大倉集古館)。
- (9) 令和 4 年度 私立美術館会議分科会に参加(館長他 2 名、令和 4 年 7 月 15 日、泉屋博古館東京)。
- (10) 令和 4 年度 私立美術館会議総会に参加(館長他 1 名、令和 4 年 10 月 28 日、藤田美術館/ザ・ガーデンオリエンタル大阪)。
- (11) 第 70 回 全国博物館大会 高知大会に館長が大会副委員長として出席(令和 4 年 11 月 16 日～18 日、高知県立県民文化ホール)及び参加(参与、令和 4 年 11 月 16 日～18 日、高知県立県民文化ホール)。
- (12) ぐるっとパス 2023 実行委員会第 1 回総会への参加(館長、令和 4 年 12 月 8 日、東京都美術館)。
- (13) 私立美術館会議幹事会に参加(館長他 1 名、令和 4 年 12 月 14 日、大倉集古館)。
- (14) 公益財団法人東京オペラシティ文化財団の評議員(評議員会議長)として館長が定例評議員会に出席(令和 5 年 3 月 10 日、東京オペラシティ会議室)。
- (15) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が第 37 回理事会に出席(令和 5 年 3 月 15 日、黒田記念館〈Zoom 併用〉)。
- (16) 公益財団法人小堀遠州顕彰会の理事として館長が定時理事会に出席(令和 5 年 3 月 17 日、遠州茶道宗家)。
- (17) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (18) 京都造形芸術大学の依頼により、学芸員を芸術学部通信教育部の非常勤講師として派遣。
- (19) 獨協大学の依頼により、学芸員を国際教養学部の非常勤講師として派遣。
- (20) 愛知県立芸術大学の依頼により、学芸員を美術学部の非常勤講師として派遣。
- (21) 青山学院大学の依頼により、学芸員を博物館実習の非常勤講師として派遣。
- (22) 鶴見大学の依頼により、学芸員を書道史の非常勤講師として派遣。
- (23) 学習院女子大学の依頼により、学芸員を比較文化論の非常勤講師として派遣。

- (24) 日本博物館協会の依頼により、学芸員を「博物館研究」編集委員として派遣。
- (25) 乃村文化財団の依頼により、学芸員を選考委員として派遣。
- (26) 文化庁の依頼により、学芸員を第 12 回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナーの講師として派遣(令和 4 年 6 月 7 日)。
- (27) 奈良国立博物館の依頼により、学芸員を同館買取等協議会委員として派遣(令和 4 年 9 月 6 日)。
- (28) 東京学芸大学附属高等学校の依頼により、学芸員を第 21 回公開教育研究大会授業者・助言講師として派遣(令和 4 年 11 月 5 日)。
- (29) 東京国立博物館の依頼により、学芸員を価格評価員として派遣(令和 4 年 12 月 13 日)。
- (30) 九州国立博物館の依頼により、学芸員を文化財評価員として派遣(令和 5 年 1 月 11 日)。
- (31) 九州国立博物館の依頼により、学芸員を同館列品等修理請負候補選定委員会委員委嘱(～令和 5 年 3 月 31 日)。
- (32) 公益社団法人日本工芸会主催「第 69 回日本伝統工芸展」に協賛。

4-2. 学会・研究会

- (1) 美術史学会、東洋陶磁学会、茶の湯文化学会、韓国美術史学会、書学書道史学会(以上大会・例会および研究会)に出席(オンライン開催を含む)。
- (2) 源氏絵データベース研究会、茶書研究会、茶の湯勉強会、書芸術研究会、関西書画コレクション研究会に参加(オンライン開催を含む)。

4-3. 国宝「源氏物語絵巻」4K 映像の常時上映

インバウンドを含む遠来の来館者の要望に応えるため、展示公開日数が限定されている国宝「源氏物語絵巻」を4K で収録した映像の本館ロビー内での常時上映を継続。

[2] 大東急記念文庫(公益目的事業②)

1. 閲覧事業

1-1. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数		25	22	22	27	4	26	22	26	17	23	20	23	257日
閲覧者数		3	5	2	7	2	2	9	1	2	2	2	9	46名
閲覧図書	国書	5	40	0	11	0	4	10	0	3	4	18	10	105点
	漢籍	0	0	0	2	2	0	0	1	1	0	0	2	8点
	仏書	2	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	11	36点
	その他	0	2	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	9点
計		7	42	1	13	2	4	39	1	4	4	18	23	158点

(2) 団体閲覧

- ・令和4年12月11日 慶應義塾大学大学院生ほか(52点/於集会室)18名

1-2. 展示

(1) 他所への貸出

- ・京都国立博物館重要文化財「高僧像」/計1件
「伝教大師1200年大遠忌記念 最澄と天台宗のすべて」(期間=令和4年4月12日~5月22日)
- ・奈良国立博物館重要文化財「騎獅文殊像内納入文書」のうち2巻/計1件
「大安寺のすべて—天平のみほとけと祈り—」(期間=令和4年4月23日~6月19日)
- ・奈良国立博物館「南都巡礼記」/計1件
「貞享本當麻曼荼羅修理完成記念 中将姫と當麻曼荼羅—祈りが紡ぐ物語—」
(期間=令和4年7月16日~8月28日)
- ・大谷大学博物館重要文化財「唐大和上東征伝」/計1件
「仏教公伝1470年・聖徳太子没後1400年・大仏開眼1270年記念 仏法東帰—大仏開眼へのみち—」
(期間=令和4年10月11日~11月28日)
- ・神戸市立博物館国宝「六祖挾担図」/計1件
「神戸市立博物館開館40周年記念 よみがえる川崎美術館—川崎正蔵が守り伝えた美への招待—」
(期間=令和4年10月15日~12月4日)
- ・福島県立美術館・千葉市美術館「画学斎過眼図藁」/計1件
「没後200年 亜欧堂田善 江戸の洋風画家・創造の軌跡」
(期間=令和4年10月29日~12月18日・令和5年1月13日~2月26日)
- ・サントリー美術館「高芙蓉追善印譜」/計1件
「没後190年 木米」(期間=令和5年2月8日~3月26日)

計 7ヶ所 7件

(2) 五島美術館への出陳

- ・[館蔵]春の優品展—吉祥の美—
……………「布袋之図自画賛 笑嶺宗訢筆」・「芥子園画伝」・「源氏物語奥入」他／計 7 件
 - ・[館蔵]夏の優品展—動物の饗宴—
……………重要文化財「北野天神縁起絵巻断簡」・「四季花鳥図屏風」・「腹鼓臍嚙曲」他／計 9 件
特集展示「江戸時代の言葉遊び」(展示室 2)
……………「新板なぞなぞづくし」・「新板はんじ物虫」・「地口行燈」他／計 33 件
 - ・[館蔵]秋の優品展—禅宗の嵐—
……………重要文化財「無学祖元墨跡」・国宝「六祖挾担図」・重要文化財「寒山図」他／計 11 件
 - ・[特別展]西行—語り継がれる漂泊の歌詠み—
……………重要文化財「平家物語 延慶本」・「五首切」・「人間万事西行猫」他／計 11 件
 - ・[館蔵]茶道具取合せ展
……………「茶室起絵図」／計 1 件
- 計 72 件

(3) その他

- ・五島美術館特集展示「江戸時代の言葉遊び」(展示室 2)について、出陳作品の選定、解説執筆等を行った。
- ・五島美術館「[特別展]西行—語り継がれる漂泊の歌詠み—」について、五島美術館学芸員と協力して出陳作品の選定、解説執筆、講演会の企画、作品の集荷・返却等を行った。

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 図書調査

今年度は参加しなかった。

2-2. 図書収集

(1) 閲覧参考資料

「人物叢書」等を継続購入中である。

(2) 出版文化史参考資料

令和 4 年度は購入しなかった。

2-3. 研究発表

- (1) 専門家の協力を仰ぎながら機関誌『かがみ』第 53 号(令和 5 年 3 月 31 日発行)を編集、発行した(「2-6. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)(1)頒布」を参照)。

2-4. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行なった。
- (2) 収蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期し、予防策として除塵

防衛施工(IPM=総合的有害生物管理)を実施した。

(4) 不慮の災害に備え、写真撮影による副本作りを行なった。令和4年度は、「大般若波羅蜜多経」「虫十番歌合絵巻」等を撮影した。

2-5. 図書修理

令和4年度は行わなかった。

2-6. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌『かがみ』第53号(令和5年3月31日発行)
- ・『典籍逍遥—大東急記念文庫の名品』(平成19年3月31日発行)
- ・『狩谷栴斎と経籍訪古志—大東急記念文庫所蔵の漢籍から』(令和元年6月10日発行)
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)——継続刊行中
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全18巻別巻1巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版『江戸文学総瞰』『物語文学総瞰』(丸善雄松堂)

2-7. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『磧砂版大蔵経目録 第十冊』1冊(杏雨書屋)
- ・『岩崎文庫貴重書書誌解題X』1冊(東洋文庫)
- ・『伝法院日並記抜抄』(東京都)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

・各種団体

北上市、人間文化研究機構国文学研究資料館等

・出版社等

勉誠社、吉川弘文館、思文閣出版、青裳堂書店、汲古書院、笠間書院等

・個人

研究者等9名

2-8. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

(1) 国文学研究資料館の学術資料委員会委員として会議に出席(令和5年2月27日、リモート会議)。

(2) 人間文化研究機構の依頼により、学芸員2名を基幹研究プロジェクト連携研究員として研究会、見学会に派遣(令和4年7月29日、国文学研究資料館・令和5年1月6日、国文学研究資料館・令和5年3月4日～5日、京都先端科学大学太秦キャンパス〈Zoom併用〉、法蔵館書店)

- (3) 第2回古籍原本調査研究会に参加(令和5年2月11日～12日、キャンパスプラザ京都)。
- (4) 国文学研究資料館の地域資料専門部会委員として文献資料調査に参加。

2-9. その他

- (1) 令和4(2022)年度日本学術振興会科研費補助金(研究成果公開促進費)「学術図書」の補助を受けて学術図書(「江戸中期以降遊里文藝考」)を刊行した。
- (2) 令和4(2022)年度日本学術振興会科研費補助金(研究成果公開促進費)「学術図書」の補助を代表者として受けて、学術図書(「深草瑞光寺所藏 元政上人資料集—近世京洛寺院の学問とネットワーク」)の編集、刊行に参加した。

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	84,735,961	50,834,497	33,901,464
未収金	5,818,913	6,794,189	△ 975,276
前払金	2,902,087	2,420,364	481,723
棚卸資産	24,213,335	25,027,890	△ 814,555
立替金	9,080	0	9,080
仮払金	0	44,000	△ 44,000
流動資産合計	117,679,376	85,120,940	32,558,436
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地 (指定)	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建物 (指定)	1,015,015,504	1,084,053,532	△ 69,038,028
立木 (指定)	1,000,000	1,000,000	0
美術品 (指定)	1,144,933,891	1,139,933,891	5,000,000
古典籍 (指定)	133,700,570	133,700,570	0
美術品 (一般)	4,618,686	2,000,000	2,618,686
什器備品 (一般)	490,003	490,003	0
投資有価証券 (一般)	315,443,900	511,143,653	△ 195,699,753
基本財産合計	3,754,888,122	4,012,007,217	△ 257,119,095
(2) 特定資産			
積立預金 (指定)	66,000,000	66,000,000	0
特定資産合計	66,000,000	66,000,000	0
(3) その他固定資産			
建物 (一般)	6,515,624	5,202,966	1,312,658
美術品 (一般)	195,614,325	194,959,325	655,000
古典籍 (一般)	165,000	165,000	0
什器備品 (一般)	3,834,531	5,374,673	△ 1,540,142
ソフトウェア (一般)	705,789	1,887,093	△ 1,181,304
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	206,885,269	207,639,057	△ 753,788
固定資産合計	4,027,773,391	4,285,646,274	△ 257,872,883
資産合計	4,145,452,767	4,370,767,214	△ 225,314,447
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,971,930	6,103,595	△ 2,131,665
前受金	6,240,000	7,680,000	△ 1,440,000
預り金	1,907,743	1,953,937	△ 46,194
流動負債合計	12,119,673	15,737,532	△ 3,617,859
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,609,668	2,573,452	3,036,216
固定負債合計	5,609,668	2,573,452	3,036,216
負債合計	17,729,341	18,310,984	△ 581,643
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,500,335,533	3,564,373,561	△ 64,038,028
(うち基本財産への充当額)	(3,434,335,533)	(3,498,373,561)	(△ 64,038,028)
(うち特定資産への充当額)	(66,000,000)	(66,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	627,387,893	788,082,669	△ 160,694,776
(うち基本財産への充当額)	(320,552,589)	(513,633,656)	(△ 193,081,067)
正味財産合計	4,127,723,426	4,352,456,230	△ 224,732,804
負債及び正味財産合計	4,145,452,767	4,370,767,214	△ 225,314,447

財産目録

令和 5年 3月31日現在

公益財団法人五島美術館

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 預金	手元保管 普通預金 みずほ上野毛① みずほ上野毛② みずほ上野毛③ みずほ上野毛④ 三菱UFJ玉川① 定期預金 みずほ上野毛①定期 三菱UFJ②定期	運転資金 運転資金 運転資金	1,869,870 81,991,180 79,311,184 264,837 3,300 11 2,411,848 874,911 500,000 374,911
未収金 前払金 棚卸資産 立替金		消費税の還付金等 次年度展覧会準備費用等 図録・ショップ商品	5,818,913 2,902,087 24,213,335 9,080
流動資産合計			117,679,376
(固定資産)			
基本財産			
土地(指定)	世田谷区上野毛3-9-25 19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	1,139,685,568
建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・陶芸教室	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	1,015,015,504
立木(指定)	樹木・石造物	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,000,000
美術品(指定)	美術工芸品 2,615件 (定款上の不可欠特定財産) 美術工芸品 2件 (定款上の不可欠特定財産) 美術工芸品 5件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。 公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。 公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	1,134,221,000 5,000,000 5,712,891
古典籍(指定)	古典籍 21,835冊 (定款上の不可欠特定財産) 古典籍 291冊	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。 公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	133,700,570 131,705,570 1,995,000
美術品(一般)	美術工芸品 2件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	4,618,686
什器備品(一般)	展示用備品・収納棚	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	490,003
投資有価証券(一般)	国債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を公益目的事業の財源としている。	315,443,900
特定資産			
積立預金(指定)	三菱UFJ・みずほ	公的目的事業及び管理運営のための資産である。	66,000,000
その他固定資産			
建物(一般)	排水管工事	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	6,515,624
美術品(一般)	美術工芸品 2,241件	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	195,614,325
古典籍(一般)	古典籍 2冊	公益目的保有財産であり、公的目的事業の用に供している。	165,000
什器備品(一般)	パソコン・事務機器	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	3,834,531
ソフトウェア(一般)	源氏物語絵巻ビデオ・事務機器	公益目的保有財産であり、公的目的事業及び管理運営の用に供している。	705,789
保証金			50,000
固定資産合計			4,027,773,391
資産合計			4,145,452,767
(流動負債)			
未払金 前受金 預り金		展覧会費用等 次年度茶の友会会費 社会保険料等	3,971,930 6,240,000 1,907,743
流動負債合計			12,119,673
(固定負債)			
退職給付引当金			5,609,668
固定負債合計			5,609,668
負債合計			17,729,341
正味財産			4,127,723,426

予算対比正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[9,310,000]	[9,521,779]	[△ 211,779]
特定資産運用益	[2,000]	[1,320]	[680]
公益事業収益	[105,106,000]	[110,796,807]	[△ 5,690,807]
受取補助金等	[500,000]	[3,500,000]	[△ 3,000,000]
受取寄付金	[69,038,000]	[69,693,028]	[△ 655,028]
雑収	[54,000]	[2,381,289]	[△ 2,327,289]
経常収益計	184,010,000	195,894,223	△ 11,884,223
(2) 経常費用			
事業費	[317,496,000]	[326,111,223]	[△ 8,615,223]
管理費	[31,541,000]	[30,617,776]	[923,224]
経常費用計	349,037,000	356,728,999	△ 7,691,999
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 165,027,000	△ 160,834,776	△ 4,192,224
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 165,027,000	△ 160,834,776	△ 4,192,224
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収	[0]	[140,000]	[△ 140,000]
経常外収益計	0	140,000	△ 140,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	140,000	△ 140,000
当期一般正味財産増減額	△ 165,027,000	△ 160,694,776	△ 4,332,224
一般正味財産期首残高	814,739,128	788,082,669	26,656,459
一般正味財産期末残高	649,712,128	627,387,893	22,324,235
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[0]	[5,000,000]	[△ 5,000,000]
一般正味財産への振替額	[△ 69,038,000]	[△ 69,038,028]	[28]
当期指定正味財産増減額	△ 69,038,000	△ 64,038,028	△ 4,999,972
指定正味財産期首残高	3,563,884,905	3,564,373,561	△ 488,656
指定正味財産期末残高	3,494,846,905	3,500,335,533	△ 5,488,628
III 正味財産期末残高	4,144,559,033	4,127,723,426	16,835,607

予算対比正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[9,310,000]	[9,521,779]	[△ 211,779]
基本財産受取利息	7,744,000	7,818,575	△ 74,575
基本財産受取配当	1,566,000	1,703,204	△ 137,204
特定資産運用益	[2,000]	[1,320]	[680]
特定資産受取利息	2,000	1,320	680
公益事業収益	[105,106,000]	[110,796,807]	[△ 5,690,807]
展示事業収益	47,141,000	47,626,208	△ 485,208
調査研究事業収益	6,100,000	7,787,703	△ 1,687,703
普及事業収益	9,820,000	13,986,900	△ 4,166,900
文庫事業収益	1,000,000	2,476,115	△ 1,476,115
カレンダー一収益	30,945,000	28,496,733	2,448,267
売店収益	10,100,000	10,423,148	△ 323,148
受取補助金等	[500,000]	[3,500,000]	[△ 3,000,000]
受取補助金その他	500,000	3,500,000	△ 3,000,000
受取寄付金	[69,038,000]	[69,693,028]	[△ 655,028]
受取寄付金額	0	655,000	△ 655,000
受取寄付金振替額	69,038,000	69,038,028	△ 28
雑収益	[54,000]	[2,381,289]	[△ 2,327,289]
受取利息	4,000	705	3,295
雑収益	50,000	2,380,584	△ 2,330,584
経常収益計	184,010,000	195,894,223	△ 11,884,223
(2) 経常費用			
事業費	[317,496,000]	[326,111,223]	[△ 8,615,223]
役員報酬	5,881,000	5,919,408	△ 38,408
臨時雇賃金	94,458,000	93,867,277	590,723
退職給付費用	16,097,000	14,977,840	1,119,160
福利厚生費	2,862,000	2,792,167	69,833
会議費	16,886,000	16,427,743	458,257
旅交費	158,000	12,000	146,000
交通費	152,000	563,076	△ 411,076
通信費	102,000	63,718	38,282
減価償却費	4,726,000	4,727,267	△ 1,267
消耗什器備品費	69,288,000	68,899,412	388,588
消耗品費	966,000	1,476,597	△ 510,597
修繕費	1,013,000	1,702,639	△ 689,639
修繕費	4,493,000	5,184,559	△ 691,559
印刷製本費	2,631,000	2,379,103	251,897
宣伝費	9,663,000	6,922,220	2,740,780
光熱費	7,800,000	6,974,763	825,237
保険料	7,605,000	9,140,107	△ 1,535,107
諸謝金	896,000	894,341	1,659
租税公課	150,000	133,411	16,589
庭園管理費	420,000	2,400	417,600
委託費	5,156,000	5,683,244	△ 527,244
展覧会費	14,360,000	15,245,565	△ 885,565
催物費	15,946,000	15,725,695	220,305
調査研究費	7,573,000	11,700,058	△ 4,127,058
雑費	5,900,000	10,566,574	△ 4,666,574
カレンダー制作費	935,000	973,951	△ 38,951
シヨットプ原価	15,557,000	15,178,051	378,949
シヨットプ原価	5,822,000	7,978,037	△ 2,156,037

科 目	予算額	決算額	差 異
管 理 費	[31,541,000]	[30,617,776]	[923,224]
員 報 酬	3,920,000	3,946,272	△ 26,272
給 料 手 当	17,751,000	16,019,727	1,731,273
退 職 給 付 費	318,000	477,349	△ 159,349
福 利 厚 生 費	2,795,000	2,808,490	△ 13,490
会 費 交 通 費	142,000	280,902	△ 138,902
旅 交 際 通 費	298,000	5,303	292,697
交 信 運 搬 費	210,000	257,516	△ 47,516
通 信 運 搬 費	309,000	691,981	△ 382,981
減 価 償 却 費	3,648,000	3,937,154	△ 289,154
消 耗 什 器 備 品 費	34,000	0	34,000
消 耗 品 費	87,000	4,257	82,743
印 刷 製 本 料 費	50,000	13,596	36,404
光 熱 水 料 費	395,000	477,126	△ 82,126
諸 謝 金	1,464,000	1,621,523	△ 157,523
租 税 公 課 費	0	2,180	△ 2,180
雑 費	120,000	74,400	45,600
經常費用計	349,037,000	356,728,999	△ 7,691,999
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 165,027,000	△ 160,834,776	△ 4,192,224
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 165,027,000	△ 160,834,776	△ 4,192,224
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
雑 収 益	[0]	[140,000]	[△ 140,000]
經常外収益計	0	140,000	△ 140,000
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	140,000	△ 140,000
当期一般正味財産増減額	△ 165,027,000	△ 160,694,776	△ 4,332,224
一般正味財産期首残高	814,739,128	788,082,669	26,656,459
一般正味財産期末残高	649,712,128	627,387,893	22,324,235
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[0]	[5,000,000]	[△ 5,000,000]
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 69,038,000]	[△ 69,038,028]	[28]
受 取 寄 付 金	△ 69,038,000	△ 69,038,028	28
当期指定正味財産増減額	△ 69,038,000	△ 64,038,028	△ 4,999,972
指定正味財産期首残高	3,563,884,905	3,564,373,561	△ 488,656
指定正味財産期末残高	3,494,846,905	3,500,335,533	△ 5,488,628
III 正味財産期末残高	4,144,559,033	4,127,723,426	16,835,607

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[9,521,779]	[6,303,662]	[3,218,117]
特定資産運用益	[1,320]	[845]	[475]
公益事業収益	[110,796,807]	[64,858,744]	[45,938,063]
受取補助金等	[3,500,000]	[2,000,000]	[1,500,000]
受取寄付金	[69,693,028]	[69,039,344]	[653,684]
雑収	[2,381,289]	[3,496,744]	[△ 1,115,455]
経常収益計	195,894,223	145,699,339	50,194,884
(2) 経常費用			
事業費	[326,111,223]	[303,163,351]	[22,947,872]
管理費	[30,617,776]	[32,853,282]	[△ 2,235,506]
経常費用計	356,728,999	336,016,633	20,712,366
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 160,834,776	△ 190,317,294	29,482,518
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 160,834,776	△ 190,317,294	29,482,518
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
雑収	[140,000]	[691,835]	[△ 551,835]
経常外収益計	140,000	691,835	△ 551,835
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	140,000	691,835	△ 551,835
当期一般正味財産増減額	△ 160,694,776	△ 189,625,459	28,930,683
一般正味財産期首残高	788,082,669	977,708,128	△ 189,625,459
一般正味財産期末残高	627,387,893	788,082,669	△ 160,694,776
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[5,000,000]	[0]	[5,000,000]
一般正味財産への振替額	[△ 69,038,028]	[△ 69,039,344]	[1,316]
当期指定正味財産増減額	△ 64,038,028	△ 69,039,344	5,001,316
指定正味財産期首残高	3,564,373,561	3,633,412,905	△ 69,039,344
指定正味財産期末残高	3,500,335,533	3,564,373,561	△ 64,038,028
III 正味財産期末残高	4,127,723,426	4,352,456,230	△ 224,732,804

正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

公益財団法人五島美術館

(単位:円)

科 目	公益事業会計				法人会計	合計
	美術館	文庫	公益共通事業	小計	法人	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用利益	[0]	[0]	[9,521,779]	[9,521,779]	[0]	[9,521,779]
基本財産受取利息	0	0	7,818,575	7,818,575	0	7,818,575
基本財産受取配当	0	0	1,703,204	1,703,204	0	1,703,204
特定資産運用利益	[0]	[0]	[1,320]	[1,320]	[0]	[1,320]
特定資産受取利息	0	0	1,320	1,320	0	1,320
公益事業収益	[108,284,092]	[2,512,715]	[0]	[110,796,807]	[0]	[110,796,807]
展示事業収益	47,626,208	0	0	47,626,208	0	47,626,208
調査研究事業収益	7,751,103	36,600	0	7,787,703	0	7,787,703
普及事業収益	13,986,900	0	0	13,986,900	0	13,986,900
文庫事業収益	0	2,476,115	0	2,476,115	0	2,476,115
カレンダー一収	28,496,733	0	0	28,496,733	0	28,496,733
売店収	10,423,148	0	0	10,423,148	0	10,423,148
受取補助金等	[3,500,000]	[0]	[0]	[3,500,000]	[0]	[3,500,000]
受取補助金その他	3,500,000	0	0	3,500,000	0	3,500,000
受取寄付金	[62,789,226]	[3,451,901]	[0]	[66,241,127]	[3,451,901]	[69,693,028]
受取寄付金	655,000	0	0	655,000	0	655,000
受取寄付金振替	62,134,226	3,451,901	0	65,586,127	3,451,901	69,038,028
雑収	[60,480]	[4]	[2,193,944]	[2,254,428]	[126,861]	[2,381,289]
雑収	0	4	701	705	0	705
雑収	60,480	0	2,193,243	2,253,723	126,861	2,380,584
経常収益計	174,633,798	5,964,620	11,717,043	192,315,461	3,578,762	195,894,223
(2) 経常費用						
事業費	[301,302,600]	[24,808,623]	[0]	[326,111,223]	[0]	[326,111,223]
役員報酬	5,919,408	0	0	5,919,408	0	5,919,408
給料	78,553,224	15,314,053	0	93,867,277	0	93,867,277
退職給付	14,977,840	0	0	14,977,840	0	14,977,840
福利厚生	2,262,505	529,662	0	2,792,167	0	2,792,167
会議費	13,311,473	3,116,270	0	16,427,743	0	16,427,743
旅費	12,000	0	0	12,000	0	12,000
交通費	504,634	58,442	0	563,076	0	563,076
通信費	63,718	0	0	63,718	0	63,718
減価償却	4,673,176	54,091	0	4,727,267	0	4,727,267
消耗什器備品	65,316,649	3,582,763	0	68,899,412	0	68,899,412
印刷製本	1,476,597	0	0	1,476,597	0	1,476,597
修繕費	1,687,579	15,060	0	1,702,639	0	1,702,639
印刷製本	4,946,189	238,370	0	5,184,559	0	5,184,559
印刷製本	2,379,103	0	0	2,379,103	0	2,379,103
印刷製本	6,322,220	600,000	0	6,922,220	0	6,922,220
印刷製本	6,871,573	103,190	0	6,974,763	0	6,974,763
印刷製本	8,662,981	477,126	0	9,140,107	0	9,140,107
印刷製本	894,341	0	0	894,341	0	894,341
印刷製本	133,411	0	0	133,411	0	133,411
印刷製本	2,400	0	0	2,400	0	2,400
印刷製本	5,683,244	0	0	5,683,244	0	5,683,244
印刷製本	15,245,565	0	0	15,245,565	0	15,245,565
印刷製本	15,725,695	0	0	15,725,695	0	15,725,695
印刷製本	11,700,058	0	0	11,700,058	0	11,700,058
印刷製本	9,846,978	719,596	0	10,566,574	0	10,566,574
印刷製本	973,951	0	0	973,951	0	973,951
印刷製本	15,178,051	0	0	15,178,051	0	15,178,051
印刷製本	7,978,037	0	0	7,978,037	0	7,978,037
役員報酬	[0]	[0]	[0]	[0]	[30,617,776]	[30,617,776]
役員報酬	0	0	0	0	3,946,272	3,946,272
役員報酬	0	0	0	0	16,019,727	16,019,727
役員報酬	0	0	0	0	477,349	477,349
役員報酬	0	0	0	0	2,808,490	2,808,490
役員報酬	0	0	0	0	280,902	280,902
役員報酬	0	0	0	0	5,303	5,303
役員報酬	0	0	0	0	257,516	257,516
役員報酬	0	0	0	0	691,981	691,981
役員報酬	0	0	0	0	3,937,154	3,937,154
役員報酬	0	0	0	0	4,257	4,257
役員報酬	0	0	0	0	13,596	13,596
役員報酬	0	0	0	0	477,126	477,126
役員報酬	0	0	0	0	1,621,523	1,621,523
役員報酬	0	0	0	0	2,180	2,180
役員報酬	0	0	0	0	74,400	74,400
経常費用計	301,302,600	24,808,623	0	326,111,223	30,617,776	356,728,999
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 126,668,802	△ 18,844,003	11,717,043	△ 133,795,762	△ 27,039,014	△ 160,834,776
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 126,668,802	△ 18,844,003	11,717,043	△ 133,795,762	△ 27,039,014	△ 160,834,776
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
雑収	[140,000]	[0]	[0]	[140,000]	[0]	[140,000]
経常外収益計	140,000	0	0	140,000	0	140,000
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	140,000	0	0	140,000	0	140,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 126,528,802	△ 18,844,003	11,717,043	△ 133,655,762	△ 27,039,014	△ 160,694,776
当期一般正味財産増減額	△ 126,528,802	△ 18,844,003	11,717,043	△ 133,655,762	△ 27,039,014	△ 160,694,776
一般正味財産期首残高	△ 1,565,862,739	△ 87,980,916	2,481,010,581	827,166,926	△ 39,084,257	788,082,669
一般正味財産期末残高	△ 1,692,391,541	△ 106,824,919	2,492,727,624	693,511,164	△ 66,123,271	627,387,893
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	[5,000,000]	[0]	[0]	[5,000,000]	[0]	[5,000,000]
一般正味財産への振替額	[△ 62,134,226]	[△ 3,451,901]	[0]	[△ 65,586,127]	[△ 3,451,901]	[△ 69,038,028]
受取寄付金	△ 62,134,226	△ 3,451,901	0	△ 65,586,127	△ 3,451,901	△ 69,038,028
当期指定正味財産増減額	△ 57,134,226	△ 3,451,901	0	△ 60,586,127	△ 3,451,901	△ 64,038,028
指定正味財産期首残高	988,224,549	123,344,730	2,485,298,540	3,596,867,819	△ 32,494,258	3,564,373,561
指定正味財産期末残高	931,090,323	119,892,829	2,485,298,540	3,536,281,692	△ 35,946,159	3,500,335,533
III 正味財産期末残高	△ 761,301,218	13,067,910	4,978,026,164	4,229,792,856	△ 102,069,430	4,127,723,426

令和 5年 5月 4日 22:54:33

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券等の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。

ただし、平成22年3月31日以前に取得した建物、什器備品は公益法人会計基準(平成20年4月11日 改正平成21年10月16日)適用の前事業年度末の帳簿価額を取得原価とみなし、残存耐用年数(新規に取得した場合の耐用年数から経過年数を控除した年数)による定額法により減価償却を行っている。

(4) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	0	0	1,139,685,568
建物	1,084,053,532	0	69,038,028	1,015,015,504
立木	1,000,000	0	0	1,000,000
美術品	1,141,933,891	7,618,686	0	1,149,552,577
古典籍	133,700,570	0	0	133,700,570
什器備品	490,003	0	0	490,003
投資有価証券	511,143,653	0	195,699,753	315,443,900
小計	4,012,007,217	7,618,686	264,737,781	3,754,888,122
(特定資産)				
積立預金	66,000,000	0	0	66,000,000
小計	66,000,000	0	0	66,000,000
合計	4,078,007,217	7,618,686	264,737,781	3,820,888,122

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568	0	0
建物	1,015,015,504	1,015,015,504	0	0
立木	1,000,000	1,000,000	0	0
美術品	1,149,552,577	1,144,933,891	4,618,686	0
古典籍	133,700,570	133,700,570	0	0
什器備品	490,003	0	490,003	0
投資有価証券	315,443,900	0	315,443,900	0
小計	3,754,888,122	3,434,335,533	320,552,589	0
(特定資産)				
積立預金	66,000,000	66,000,000	0	0
小計	66,000,000	66,000,000	0	0
合計	3,820,888,122	3,500,335,533	320,552,589	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(基本財産)	2,439,289,950	1,424,274,446	1,015,015,504
建物(その他固定資産)	6,930,000	414,376	6,515,624
什器備品(基本財産)	42,126,653	41,636,650	490,003
什器備品(その他固定資産)	87,216,866	83,382,335	3,834,531
ソフトウェア	7,381,908	6,676,119	705,789
合計	2,582,945,377	1,556,383,926	1,026,561,451

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
投資有価証券	315,443,900	510,611,777	195,167,877
合計	315,443,900	510,611,777	195,167,877

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,573,452	3,269,516	233,300	0	5,609,668

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
助成金						
助成金	三菱財団	0	500,000	500,000	0	-
助成金	日本芸術文化振興会	0	3,000,000	3,000,000	0	-
補助金						
文化芸術振興費	文化庁	0	140,000	140,000	0	-
合計		0	3,640,000	3,640,000	0	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	69,038,028
合計	69,038,028

9. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用する。
なお、テリバディブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。

令和5年5月30日

監査報告書

私たち監事は、令和4年度における公益財団法人五島美術館の業務執行状況および会計帳簿並びにこれに関する資料につき監査いたしました。


その結果、正味財産増減計算書、貸借対照表およびその附属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財産状態を正しく表示していると認めます。

また事業報告の内容は真実であると認めます。

その他、理事の職務状況に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認めます。

公益財団法人 五島美術館

監事

味柳信雄 

監事

島本武彦 